



## 2020年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年11月8日

上場会社名 大同メタル工業株式会社

上場取引所 東名

コード番号 7245 URL <http://www.daidometal.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役会長兼最高経営責任者 (氏名) 判 治 誠 吾

問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼常務執行役員 (氏名) 三 代 元 之  
経営・財務企画ユニット長

TEL 052 - 205 - 1400

四半期報告書提出予定日 2019年11月8日

配当支払開始予定日 2019年12月6日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年3月期第2四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	50,701	5.8	2,335	37.2	2,180	35.3	926	47.3
2019年3月期第2四半期	53,822	5.4	3,716	69.3	3,372	49.8	1,758	132.2

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 1,235百万円 (13.5%) 2019年3月期第2四半期 1,088百万円 (50.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	19.49	
2019年3月期第2四半期	43.13	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第2四半期	158,283	65,562	35.9
2019年3月期	161,881	65,253	35.0

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 56,871百万円 2019年3月期 56,636百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		15.00		15.00	30.00
2020年3月期		20.00			
2020年3月期(予想)				15.00	35.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 2020年3月期中間配当金の内訳 普通配当15円00銭 記念配当5円00銭(創立80周年記念配当)

### 3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	100,100	7.1	4,500	38.0	4,400	33.6	4,800	16.1	101.01

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有  
以外の会計方針の変更 : 有  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

詳細は、添付資料11ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期2Q	47,520,253 株	2019年3月期	47,520,253 株
期末自己株式数	2020年3月期2Q	529 株	2019年3月期	324 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期2Q	47,519,874 株	2019年3月期2Q	40,757,928 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(決算補足説明資料の入手方法)

決算補足説明資料「2020年3月期第2四半期(累計) [連結] 決算ハイライト」は、TDnetで本日開示しております。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(会計方針の変更)	10
(セグメント情報等)	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、米中貿易摩擦の激化によるマイナス影響が拡大しており、景気の減速が広がっております。

わが国経済は、内需の鈍化傾向がみられ、消費増税前の駆け込み需要においても前回の増税時に比べ小規模であり、個人消費の伸びは力強さを欠いております。また、設備投資は底堅かったものの貿易摩擦などの不透明感の強さから伸びが鈍化しており、取り巻く経営環境は総じて厳しい状況下にあります。

このような市場環境下、当社グループの当第2四半期連結累計期間における業績につきましては、自動車関連産業の全世界的な需要の伸び悩みにより、売上高は507億1百万円と前年同四半期比31億20百万円(△5.8%)の減収となりました。

利益面では、世界的な自動車生産の落ち込みによる減収の影響や当社の連結子会社である株式会社飯野製作所の国内拠点の集約、海外での生産拠点移管による一時的な再編費用の影響により、営業利益は23億35百万円と前年同四半期比13億81百万円(△37.2%)の減益、経常利益は21億80百万円と同11億92百万円(△35.3%)の減益となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は9億26百万円と同8億32百万円(△47.3%)の減益となりました。

セグメントの業績は、次のとおりです。

なお、セグメント間の内部売上高又は振替高は、セグメントの売上高に含めております。

## ① 自動車用エンジン軸受

日本国内の当第2四半期連結累計期間の新車販売台数は、前年同四半期比微増ながら、海外は中国が12%強、中国を除くアジア諸国全体においても約5%減少し、欧米においても微減となっております。

そのような状況下、当社グループの国内売上高及び海外売上高とも減少し、国内は前年同四半期比約7.6%減、海外も自動車産業全体の需要減により同約5.8%減となったことから、当セグメントの売上高は同6.5%減収の306億90百万円となりました。セグメント利益は同14.1%減益の36億36百万円となりました。

## ② 自動車用エンジン以外軸受

商社向け販売(中東向けなど)の減少や米国の乗用車関連の需要減少を受け、売上高は前年同四半期比5.8%減収の79億19百万円、セグメント利益は同14.3%減益の13億66百万円となりました。

## ③ 非自動車用軸受

## ・ 船舶分野

前年同四半期においては、過剰船腹が続いておりましたが、その後、国内外の需要が回復基調にあることや海外の新規顧客の取り込みもあり、当社の売上高も増加となりました。

## ・ 建設機械分野

国内は底堅い需要があるものの、海外需要は中国の影響を受け減少となり、売上高は減少となりました。

## ・ 一般産業分野におけるエネルギー分野

再生可能エネルギーの水力発電需要に伸びが見られたものの、原油価格の下落を受け、石油プラント関連の設備投資減少の影響等もあり、売上高は微減となりました。

上記の結果、セグメント売上高は前年同四半期比7.8%増収の50億58百万円、セグメント利益は同36.8%増益の7億89百万円となりました。

## ④ 自動車用軸受以外部品

## ・アルミダイカスト製品

世界的な自動車生産の落ち込みによる受注の減少から、売上高は前年同四半期比で減少しております。営業利益についてはタイの工場合理化による利益創出の効果もあり粗利率は3%強の改善がみられたもののタイの新工場（DMキャストリングテクノロジー（タイ）CO., LTD.）の建設に伴う初期費用の発生により減益となりました。

## ・曲げパイプ、ノックピン、NC切削品などの部品

底堅い需要で推移し、売上高は前年同四半期に比べほぼ横ばいとなりましたが、営業利益面については国内拠点の集約、海外での生産拠点移管による一時的な再編費用の影響もあり、減益となりました。

これらの結果、当セグメントの売上高は前年同四半期比8.4%減収の72億81百万円、セグメント損失は2億75百万円となり、前年同四半期のセグメント利益1億76百万円から4億52百万円の減益となりました。

## ⑤ その他

米中貿易摩擦の影響による全般的な設備投資の減速を受け、電気二重層キャパシタ用電極シート、金属系無潤滑軸受事業及びポンプ関連製品事業に不動産賃貸事業等を加えた当セグメントの売上高は前年同四半期比9.6%減収の12億59百万円、セグメント利益は同20.4%減益の2億88百万円となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## ① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間における総資産は1,582億83百万円となり、前連結会計年度末に比べ35億98百万円減少いたしました。これは主に現金及び預金、受取手形及び売掛金が減少したことによりです。

流動資産は745億88百万円となり、前連結会計年度末に比べ35億54百万円減少いたしました。これは主に現金及び預金、受取手形及び売掛金が減少したことによりです。

固定資産は836億94百万円となり、前連結会計年度末に比べ44百万円減少いたしました。これは主に有形固定資産が増加した一方で無形固定資産が減少したことによりです。

負債につきましては927億20百万円となり、前連結会計年度末に比べ39億7百万円減少いたしました。これは主に短期借入金が増加した一方で1年内返済予定の長期借入金、長期借入金が増加したことによりです。

純資産は655億62百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億8百万円増加いたしました。これは主に利益剰余金が増加したことによりです。

自己資本比率は前連結会計年度末から0.9ポイント増加し35.9%となりました。

## ② キャッシュ・フローの状況

営業活動によるキャッシュ・フローは、63億55百万円の収入となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益21億80百万円と、減価償却費46億31百万円によりです。

投資活動によるキャッシュ・フローは、53億49百万円の支出となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出40億88百万円によりです。

財務活動によるキャッシュ・フローは、27億9百万円の支出となりました。これは主に短期借入金の純増加額25億33百万円の一方、長期借入金の返済による支出が48億35百万円あったことによりです。

以上により、当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物の残高は153億82百万円となり、前連結会計年度末に比べ17億45百万円減少いたしました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の通期の業績予想につきましては、2019年9月17日に公表した予想値に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	19,605	18,209
受取手形及び売掛金	27,109	25,124
電子記録債権	2,809	2,349
商品及び製品	11,452	11,582
仕掛品	9,508	9,335
原材料及び貯蔵品	6,578	6,846
その他	2,382	2,632
貸倒引当金	△1,303	△1,493
流動資産合計	78,142	74,588
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	16,690	16,159
機械装置及び運搬具（純額）	26,116	25,168
その他（純額）	19,235	20,815
有形固定資産合計	62,043	62,142
無形固定資産		
のれん	7,147	6,776
その他	5,444	5,729
無形固定資産合計	12,591	12,505
投資その他の資産		
投資その他の資産	9,154	9,096
貸倒引当金	△50	△50
投資その他の資産合計	9,103	9,046
固定資産合計	83,739	83,694
資産合計	161,881	158,283

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,437	7,160
電子記録債務	8,759	8,496
短期借入金	22,703	24,696
1年内返済予定の長期借入金	6,428	3,636
未払法人税等	1,066	644
賞与引当金	1,976	1,792
役員賞与引当金	181	25
製品補償引当金	214	333
環境対策引当金	99	102
営業外電子記録債務	1,007	900
その他	7,011	7,575
流動負債合計	57,885	55,365
固定負債		
長期借入金	26,017	24,555
環境対策引当金	1	1
退職給付に係る負債	6,795	6,847
資産除去債務	17	17
負ののれん	1	0
その他	5,908	5,933
固定負債合計	38,742	37,355
負債合計	96,628	92,720
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,413	8,413
資本剰余金	13,114	13,114
利益剰余金	36,655	36,868
自己株式	△0	△0
株主資本合計	58,182	58,396
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	906	783
為替換算調整勘定	△352	△372
退職給付に係る調整累計額	△2,100	△1,935
その他の包括利益累計額合計	△1,545	△1,524
非支配株主持分	8,617	8,690
純資産合計	65,253	65,562
負債純資産合計	161,881	158,283

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
売上高	53,822	50,701
売上原価	39,752	37,675
売上総利益	14,069	13,026
販売費及び一般管理費	10,353	10,691
営業利益	3,716	2,335
営業外収益		
受取利息	33	39
受取配当金	42	46
負ののれん償却額	0	0
持分法による投資利益	86	50
その他	192	260
営業外収益合計	356	397
営業外費用		
支払利息	421	430
為替差損	135	10
その他	143	111
営業外費用合計	700	552
経常利益	3,372	2,180
税金等調整前四半期純利益	3,372	2,180
法人税、住民税及び事業税	1,089	773
法人税等調整額	171	218
法人税等合計	1,260	991
四半期純利益	2,112	1,188
非支配株主に帰属する四半期純利益	353	262
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,758	926

## 四半期連結包括利益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益	2,112	1,188
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△63	△124
為替換算調整勘定	△1,015	4
退職給付に係る調整額	133	172
持分法適用会社に対する持分相当額	△78	△5
その他の包括利益合計	△1,023	46
四半期包括利益	1,088	1,235
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,025	947
非支配株主に係る四半期包括利益	62	288

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	3,372	2,180
減価償却費	4,191	4,631
のれん償却額	278	423
負ののれん償却額	△0	△0
持分法による投資損益 (△は益)	△86	△50
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	184	225
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△81	△181
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△51	△155
退職給付に係る資産負債の増減額	140	38
環境対策引当金の増減額 (△は減少)	△18	3
受取利息及び受取配当金	△76	△86
支払利息	421	430
売上債権の増減額 (△は増加)	△286	2,136
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△1,841	△458
仕入債務の増減額 (△は減少)	344	△1,292
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△28	△221
その他の負債の増減額 (△は減少)	△13	718
その他	130	△456
小計	6,579	7,886
利息及び配当金の受取額	75	84
持分法適用会社からの配当金の受取額	—	26
利息の支払額	△417	△432
法人税等の支払額	△1,446	△1,208
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,791	6,355

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△1,087	△1,063
定期預金の払戻による収入	722	755
投資有価証券の取得による支出	△12	△13
有形固定資産の取得による支出	△2,121	△4,088
有形固定資産の売却による収入	169	47
無形固定資産の取得による支出	△399	△977
貸付けによる支出	△27	△18
貸付金の回収による収入	2	3
条件付取得対価に係る公正価値の変動額	1,850	—
その他	7	4
投資活動によるキャッシュ・フロー	△896	△5,349
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△8,922	2,533
長期借入れによる収入	12,000	686
長期借入金の返済による支出	△4,503	△4,835
セール・アンド・リースバックによる収入	—	362
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△561	△549
株式の発行による収入	2,259	—
自己株式の取得による支出	△0	△0
自己株式の処分による収入	4,574	—
配当金の支払額	△596	△711
非支配株主への配当金の支払額	△155	△195
財務活動によるキャッシュ・フロー	4,094	△2,709
現金及び現金同等物に係る換算差額	△208	△41
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	7,780	△1,745
現金及び現金同等物の期首残高	11,866	17,127
現金及び現金同等物の四半期末残高	19,646	15,382

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当該事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当該事項はありません。

(会計方針の変更)

(作業くずの売却収入の計上区分の変更)

当社グループは、従来、製造の過程で生じる作業くず（金属屑及び廃液）の売却収入を営業外収益のスクラップ売却収入に計上しておりましたが、リサイクル技術の向上により製造工程で生じる作業くずの処分量が増加傾向にあることから原価管理の手法を見直したことを契機として、第1四半期連結会計期間より製造費用から控除する方法に変更しております。当該会計方針の変更は遡及適用され、前年同四半期については遡及適用後の四半期連結財務諸表となっております。

この結果、遡及適用を行う前と比べて、前第2四半期連結累計期間の売上原価が355百万円減少し、売上総利益及び営業利益が同額増加しておりますが、経常利益、税金等調整前四半期純利益への影響はありません。

なお、従来の方法によった場合と比較して製造費用に与える影響が小さいことから、過年度の製造原価計算の再計算は行わず、各期のスクラップ売却収入は全額売上原価から控除して処理しており、前連結会計年度の期首の純資産への累積的影響額はありません。

(IFRS 16号「リース」の適用)

当社グループは、第1四半期連結会計期間の期首より、日本基準を採用する当社及び国内子会社、並びに米国基準を適用する米国子会社を除き、IFRS第16号「リース」を適用しております。これにより、借手は原則すべてのリースについて資産及び負債を認識することといたしました。

なお、本基準の適用による当社グループの財政状態及び経営成績に与える影響は軽微であります。

(セグメント情報等)

[ 前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日) ]

## ① 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	自動車用 エンジン 軸受	自動車用 エンジン 以外軸受	非自動車用 軸受	自動車用 軸受以外 部品	計		
売上高							
外部顧客への売上高	32,649	7,448	4,677	7,897	52,672	1,149	53,822
セグメント間の内部 売上高又は振替高	170	957	17	48	1,194	243	1,438
計	32,820	8,406	4,694	7,946	53,867	1,393	55,260
セグメント利益	4,235	1,593	577	176	6,582	363	6,945

(注)「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、電気二重層キャパシタ用電極シート、金属系無潤滑軸受事業、ポンプ関連製品事業、不動産賃貸事業等を含んでおります。

② 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容  
(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利 益	金 額
報告セグメント計	6,582
「その他」の区分の利益	363
セグメント間取引消去	47
全社費用 (注)	△3,276
四半期連結損益計算書の営業利益	3,716

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

[ 当第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日) ]

## ① 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	自動車用 エンジン 軸受	自動車用 エンジン 以外軸受	非自動車用 軸受	自動車用 軸受以外 部品	計		
売上高							
外部顧客への売上高	30,420	7,130	5,050	7,171	49,772	928	50,701
セグメント間の内部 売上高又は振替高	269	788	7	110	1,176	330	1,507
計	30,690	7,919	5,058	7,281	50,949	1,259	52,209
セグメント利益 又は損失(△)	3,636	1,366	789	△275	5,516	288	5,804

(注)「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、電気二重層キャパシタ用電極シート、金属系無潤滑軸受事業、ポンプ関連製品事業、不動産賃貸事業等を含んでおります。

## ② 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利 益	金 額
報告セグメント計	5,516
「その他」の区分の利益	288
セグメント間取引消去	7
全社費用(注)	△3,476
四半期連結損益計算書の営業利益	2,335

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。